注：以下の記述の中で、「土砂災害防止法」とは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」の略称として用いている。

令和８年度登録斜面防災基幹技能者講習　修了試験問題

【問1】 登録基幹技能者に関する記述として、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 登録基幹技能者とは、プロジェクト全体を統括的に管理する者である。
2. 登録基幹技能者とは、職長として熟達した作業能力と豊富な知識を持った者である。
3. 登録基幹技能者とは、マネジメント能力に優れた者である。
4. 登録基幹技能者とは、国土交通大臣の登録を受けた機関が資格認定した者である。

【問2】 OJT に関する次の記述のうち、**最も適当でないもの**はどれか。

1. OJT では、上司の仕事そのものであるとの認識のもとに行うことを基本とする。
2. OJT では、教育訓練計画を策定し、個別に指導することを基本とする。
3. OJT では、部下の能力レベルに合わせた目標を立てることを基本とする。
4. OJT では、組織風土の枠内での能力開発を基本とする。

【問3】 施工計画と施工管理に関する記述で、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 施工計画は、人、材料、方法、機械、資金の5つの手段を用いて、目的物を完成させるための施工法等を決定するものである。
2. 施工管理とは、施工計画に基づき、施工者が所定の品質の工事目的物を完成させるまでの管理技術である。
3. 施工計画に基づく施工管理には、品質管理、原価管理、工程管理、安全管理、環境保全管理の5つがある。
4. 適切に施工管理を行うためには、計画（Plan）、実施（Do）、検討（Check）、3 つの段階のサイクルを回すことが基本である。

【問4】 作業計画に関する記述で、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 施工要領書は、施工上の問題への対処方法を事前に検討し、施工方法を明確に記載する。
2. 作業手順書は、元請技術者が作成する。
3. 作業手順書作成は、現場の実情にあっていること、法令に違反していないこと、わかりやすく、具体的に、簡潔に記載されていることが重要である。

4. 作業手順書は、相手の立場にたって、どれくらい知っているか、わかっているかを確かめながら説明することが大切である。

【問5】 地すべり対策工事や急傾斜地崩壊対策工事の施工計画の立案に関する記述で、**最も適当でないもの**はどれか

1.「指定仮設」の工事であるが、過去の経験から設計（構造）に不安があり、登録基幹技能者として元請けに相談し、施工計画にその意見を反映してもらった。
2. 土砂災害防止法等の情報を県のホームページから閲覧し、施工箇所周辺の土砂災害発生リスクの把握や豪雨時等の避難経路の検討に活用した。
3.「任意仮設」の工事について、施工計画書提出時の打合せで、発注者側の監督員からの指示により、施工方法等を修正した。
4. 施工計画は、複数の計画案を作成し、経済性、施工性、安全性などについて比較検討し、最も適した計画を採用する。

【問6】 ロープ高所作業に関する対策において、**最も適当でないもの**はどれか

1. 作業指揮者はロープ高所作業特別教育修了者の中から選任され、事前調査と作業計画を作成し、計画に基づき監督、監視を行う。
2. メイン用ロープは、身体保持用のバックサイドベルトの D 環へ、ライフライン用ロープは胴ベルト型安全帯の D 環に間違いのないように接続する。
3. ロープ高所作業において、太さ19㎜以上、長さ 1m 以上の鉄筋を2本ずつそれぞれメインロープとライフラインに分けて設置した。
4. ロープは法尻まで届く長さを基本とするが、横移動に伴い、ロープが不足するため、すり抜け防止措置を行った。

【問7】 労働災害防止対策として、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 強風・大雨・大雪等の悪天候時において、作業の進捗状況や現場の状況から危険と予測したので作業を中止した。
2. 夏季の屋外作業において、WBGT（暑さ指数）を測定し、指数に応じた休憩時間の確保や水分・塩分の補給を指導した。
3. 地山の掘削作業において、作業スペースを確保して作業効率を上げるため、掘削した土砂を一時的に斜面の頂部近傍へ集積した。

4. 大雨の後には、仮設足場や地山、型枠支保工等に異常がないか必ず確認した。

【問8】 総合的品質管理の必要性について**最も適当でないもの**を選べ。

1. 建設現場において品質の確保・向上を実現するためには、経営者はもちろん関係者全体が参加・協力することが求められている。
2. 一般に品質管理活動は、a)プロセス、b)スタッフ組織、c)マネージャー組織といった企業全体の参加、協力、統制が必要となる。
3. 日本の高品質の源は、ボトムアップにあり、生産現場に直接関わる組織や事業者による地道な品質管理活動によるところが多いと言われている。
4. TQCは『現場視点か？』、TQMは『全社的な視点か？』という違いがある。

【問9】 工程管理に関する次の記述のうち、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 工程計画は、①施工順序 ②作業可能日数 ③投入可能な労務・機材 ④工程表を検討して作成する。
2. 一般に工程と原価の関係は、最適工期よりも遅い工程にすると原価は高くなり、逆に早い工程にすると原価は低くなる。
3. 斜面防災工事における作業可能日数は、現地の地形、地質、水文気象等の自然条件を十分に調査し、算定する必要がある。
4. 工程管理では、基本工程表（全体工程表）を基に、月間工程表、週間工程表を作成し、工事実施の基準として使用する。

【問10】 原価管理に関する次の記述のうち、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 発注者が提示する設計図書のうち、仕様書は図面で表現しにくい材料の品質・規格・施工要領等を詳しく定めており、「共通仕様書」と「特記仕様書」がある。
2. 共通仮設費とは各工事種目に共通の仮設に要する費用であり、現場事務所や仮囲い、機械の運搬費のほか準備・片付けの費用も含まれる。
3. 歩掛りとは、ある工事目的物の1単位の施工（単位面積や単位容量など）に要する労務の数量・諸経費率を指す。
4. 原価要素として、材料費、労務費に加えて、建設業ではその生産特性を踏まえ外注費を特別に加えている。

【問11】 次の作業のうち、特別教育で**従事できないもの**はどれか。

1. 1トン未満のクレーン・移動式クレーンの玉掛作業。
2. 不整地運搬車最大荷重1トン以上の運転。
3. チェーンソーを用いて行う立木の伐採、かかり木の処理または造林の業務。
4. ロープ高所作業に関する業務。

【問12】 安全衛生責任者の職務として**最も適当でないもの**はどれか。

1. 仕事の一部を再下請け（二次、三次）させる場合は、元請の統括安全衛生責任者との連絡調整を行うこと。
2. 自社（請負人）と元請けの仮設設備、移動式クレーン等の重機を用いる作業計画の調整。
3. 混在作業によって生ずる労働災害に係る危険の有無の確認。
4. 毎日の安全工程打合せへの参加。

【問13】 労働時間の管理に関する記述のうち、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 使用者の指示により、就業を命じられた業務に必要な装備の着用を義務付けられた準備行為は、労働時間である。
2. 業務終了後に、業務に関連した片付けや清掃などを事業場で行った時間は、労働時間である。
3. 使用者の指示があれば即座に業務に就くことが求められている。労働から離れることが保証されていない状態で待機しているいわゆる手待ち時間は、労働時間である。
4. 自宅から現場への直行・直帰に要する通勤時間は、労働時間である。

【問14】 斜面防災工事中に地震が発生した場合、作業員の安全確保のために職長がとった対応として**最も適当でないもの**はどれか。

1. 地震と思われる振動を感じたので、斜面上や付近で作業中の作業員に斜面から速やかに離れるように指示した。
2. 地震が収まったと判断したら、速やかに斜面からの落石の有無や斜面における新たなクラック発生、立木の傾き、斜面からの湧水量や濁りの変化を調査した。
3. 斜面から落石が多々あり、かつ斜面にクラックが無かったので、不安定な転石が除かれ斜面の安定性が高まったと考え、速やかに工事を再開した。
4. 震度の大きい地震では、山間地で河道閉塞（天然ダム）が発生することがあるので、工事個所

付近にある渓流の水位や水の濁りの急な変化を監視することにした。

【問15】 斜面防災関係法令に関する記述のうち***最も適当なもの***はどれか。

1. 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（いわゆる「急傾斜地法」）では、「『急傾斜地』とは、崖地として高さ10m以上となる土地」と定義されている。
2. 「急傾斜地崩壊危険区域」は、市町村長が急傾斜地崩壊防止工事に必要な土地の区域を指定する。
3. 地すべり等防止法では、「『地すべり』とは土地の一部が地下水等に起因してすべる現象又はこれに伴って移動する現象をいう」と定義されている。
4. 「地すべり防止区域」は、都道府県知事が地すべり防止工事に必要な土地の区域を指定する。

令和 8 年度登録斜面防災基幹技能者講習修了試験問題　正答（差替え版）

問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
正答	1	4	4	2	3	2	3	2	2	3 及び 4	2	1	4	3	3

問10は、正答が 2 つあることが判明しました。問 10 の解答で、3 又は 4 と解答された受講者は正答としました。